

すなお

令和3年6月号

おやのことば

あちら一人育て、こちら
一人育て、何処へ蒔いた
やらという処から生えて
くる。眺めて見れば、そ
の道筋一粒万倍という。

明治二九年十月十日



会長

今月三日の夕方、教会のすぐ前の民家が火事になりました。私は信者さんからの電話でその状況を知らされたのですが、その時松山に居て講社祭終了直後のことでした。振り返れば目に見える所での火事は何度か経験してはいますが、今回のようにすぐ目の前というのは初めてのことでした。電話で状況確認をしながら、離れた所からでは慌てて帰ったところでもうにもならないと思いました。

ただ、ありがたいことにその日は小雨が降っていましたし、風もほとんど無かったように思います。もちろん、松山での感覚ですから教会付近と全く同じとは言えませんが、以前新潟県で起きた大規模火災では強風のために次々と延焼したことがありましたから、道路を挟んでいても風があったなら安心は出来ませんでした。

結果は出火した民家のみで治めていただき無難となりました。ただ、神様は”見るもいんねん、聞くもいんねん”と教えて下さっています。今回、無事に終わったからと言ってそれで良かったと終わってしまわないようにしたいと思い、次の日の朝から練り合いをしましたので報告させていただきます。

(次ページへ)

一つは火事の起こった時間に会長である私が松山に居て、教会不在でした。これは様々な御用をする上で致し方ありませんが、今回延焼が起きていたとすれば神様の遷座を誰かがしなくてはなりません。会長だけが分かっている知っているではないかと思ひ、教会家族、役員、近隣の信者さんにも緊急事態での対処の打ち合わせをし、実際に遷座の練習をさせていただきました。

二つ目は教会内において火災が発生した際に使用する消火器の所在の確認。警報機の所在と動作イメージの確認。避難ぼしごの所在確認。そして、消防署への通報確認をしました。現在コロナ禍のため、避難訓練等は即座に出来ませんが事前にイメージしておくことは出来ますので、月次祭には信者さんにも確認をしておきたいと思ひます。

そして、最後にこうした火事・災害等はある日突然にやってきました。しかし、自分の心で切り替えることも出来ると教えていただきます。「火のない所に煙はたたない」と言われますが、同様に擦れ合いの心が無い所に火は起こりません。物と物が擦れ合せて火が燃えるように、心と心の擦れ合いがあるから火の姿が現れてきます。自分が正しいと思ひ込みお互いに擦れ合えば火が出ます。私たち人間は所詮足りないもの同士です。自らの足らなさを知ることにより、低い心になり争う心も無くなります。そうすれば心の火も消えますし、火事も起こりません。

この世は心通りの姿が見えてくると教えていただきます。日々我が心の洗濯に心がけてつとめさせていただきますように。



合図立て合い

田中道則

2年前にこどもおぢばがえりでのパレードが無くなるという話があり、さあこれからバンド活動をどういう形で進めて行こうかという話し合いをしました。

そして年が明けると何やら聞いたことのないウィルスが世界中に広がり始め、今に至っています。そもそもパレードが無くなるという概念がありませんでしたが、今思うとこれから今まで考えもしなかったような事が起こる「合図立て合い」だったように思ひます。

この妙なるタイミングを不思議に感じている人もいると思ひます。人間はどこまでも神様の懐住まいということをお仕込み下さっているように思ひます。理に添った日々を通りたいです。



暑い中でも

椿 信代

今年は例年よりも早く梅雨入りをして、関西もずっと雨続きかと思っていました。しかし今のところ雨の日はわずかで、梅雨の中休みが多く30℃を超える夏日が増えたような感じです。燦々と照る日差しの下で紫陽花が咲いているのを見ると不思議な気もします。

先日、昼間の14時頃に外を歩ることがありあまりの暑さに日傘をさして汗だくになっていたところ、ジリジリと太陽が照る中で工事現場のおじさん達がヘルメットに作業着で黙々と作業をされている姿を目にしました。その姿を見て大変だなと思うと同時に、普段涼しいオフィスで仕事をさせてもらっている自分が多少の気温の変化で暑いだの寒いだの言っていて、暑い中でもこうして必死に仕事をしている人にすごく申し訳ないなと思いました。

特にこのコロナ禍で仕事を続けることすら必死な時代です。恵まれた状況に気づけず不足を増やすのは神様が一番悲しまれることと思いきり、これからは小さくても日々の喜びを見つけて通りたいと思いました。

教会ニュース

こどもおぢばがえり中止

今年のこどもおぢば帰りは規模を縮小しての開催を計画しておられましたが、感染の終息の兆しが見えないため昨年に引き続き、中止となりました。もうしばらくの自粛生活をさせていただきます。家族単位でのおぢば帰りは出来ますので、近県の方々はお帰りください。

なお、詰所宿泊はその時期によって急遽出来ないことがありますので、予定のある方はその都度詰所に確認をして下さい。よろしくお願いいたします。

また、別席食は今年度4月1日より廃止となりましたのでご承知おきください。

編集後記

梅雨に入りはっきりしない天気も続いています。この時期になると毎週日曜日に、こどもおぢばがえりのパレード練習をしていた時の事を思い出します。また、何かの形で演奏出来れば良いと思います。（編集者K）

中和大教会創立130周年記念祭 執行 令和3年10月10日(日)

*当日は教会長夫妻、おつとめ奉仕者のみでつとめます



すなお (立教184年6月号)

通 卷 No.731
発行所 天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
☎ 0898-23-5004
FAX 0898-23-5123
発行日 2021.6.16
責任者 二宮英治